

介護業界の最大の悩みは人材確保と職員のスキルアップだ。奈良県を中心に有料老人ホームやグループホーム、診療所などを展開するウェルグループ(奈良市)は、独自の教育・レベル判定システム「楽ちゃんキャリアアップ」を開発し、グループ内で活用するとともに外部への販売を始める。職員の熟練度を正確に知ることによって職員のローテーションが組みやすくなるほか、待遇改善にも活

用があるので人材の流出防止にも役立つという。

自動車の免許所有者でも運転の上手な人と下手な人がいる。介護も同様で、現場で最も一般的な介護職員初任者研修という資格の所

用であるので人材の流出防止にも役立つという。

昌司会長はシステム開発の動機を説明する。

国も知識偏重の資格を改

善する目的で、知識と実践の双方を評価する仕組みとしてキャリア段位制度を設

立た」と同グループの井村

昌司会長はシステム開発の定は、「個々の職員が具体的な意見をもとに5年をか

けて製作、楽ちゃんキャリアアップと名付けたシステム

は、全体で960項目のチェック項目があり、これを

もとにレベルを判定する。

職員自らができる

生活・サービス

医療・介護

最新 前線 リポート

ウェルグループ(奈良市)



井村昌司会長

▽所在地 奈良市三条大路5の2の61
▽電話番号 0743-55-1120 (介護事業本部)
▽創立年 1984年
▽職員数 約600人(パート含む)
▽事業概要 測量・登記など建築関連からスタートし介護に進出。グループホーム、デイサービス、特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、医療機関などを展開。



管理職は職員の得意・不得意を把握することができる(介護付有料老人ホーム ウエルライフ郡山)

職員の力量、960項目で判定

有者でも、その力量は様々だ。力量のない同士がコンビを組んで仕事をすれば、介護を受ける高齢者に

負担がかかったり作業時間が長くなったりする。しかし「職員一人ひとりの現場での実力を計る方法がなかなか

A級だけでも160項目ある。

例えば排せつ介助の項目を見

「介護現場では介護の具体的な作業の仕方は教える人によって異なる場合多

く、最もレベルの低い1段

から4段まで148のチ

エック項目しか

それを上司による客観的評価と合わせてA、B1、B2など6つのうちどのレ

ベルにあるのかを判定す

る。D以上だと国の段位制

度の施設内のアセッサー(評価者)に相当するとい

う。同グループはシステム以外にも現場指導やレベル別講座などのサービスも用意している。「職員をきちんと評価し、待遇を改善していかなければ介護業界は人材不足で崩壊する」。井村

昌司会長のこうした危機感がシ

アーケードでは指導を受けた方には戸惑ってしまう

うえ、客観的な評価の障壁となる。項目を細分化する

(奈良支局長 松田隆)